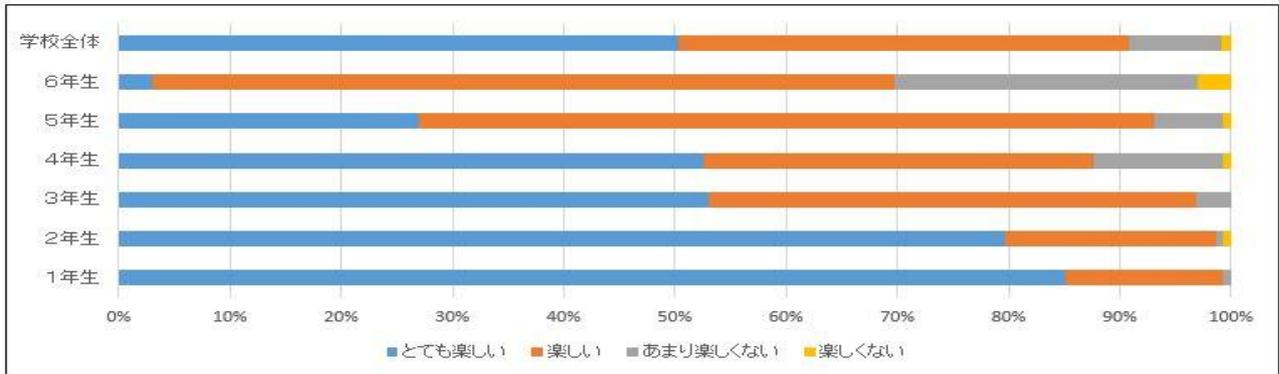


## 外国語科に関する調査結果

【児童へのアンケート結果から】

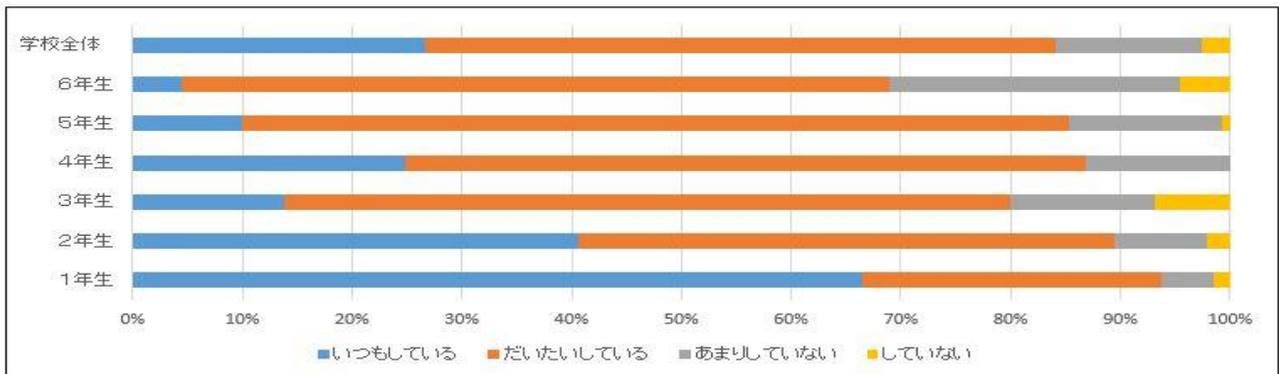
### 1. 外国語の授業は、楽しいですか。



学校全体の約9割の児童が、外国語の授業が楽しい（とても楽しい、楽しい）と答えている。

1, 2年生においては、とても楽しいと答えている割合が8割程度で、大変好意的に捉えていることが窺えるが、学年が上がるにつれて、楽しいと感じる児童の割合が低くなる傾向にある。

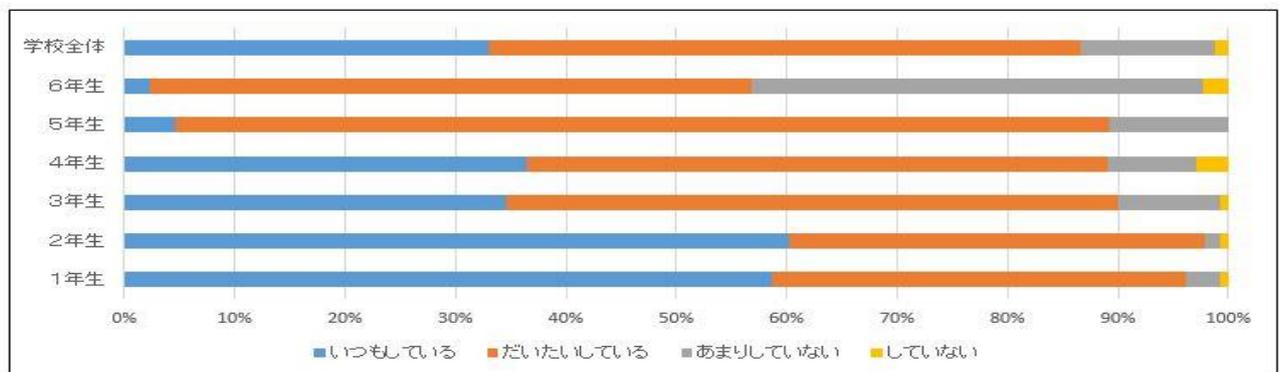
### 2. 外国語の授業で、相手に伝わりやすいように、はっきりした大きさの声で話すことを、心がけていますか。（クリアボイス）



学校全体の8割を超える児童が、クリアボイスを心がけている（いつも、だいたい）と答えている。

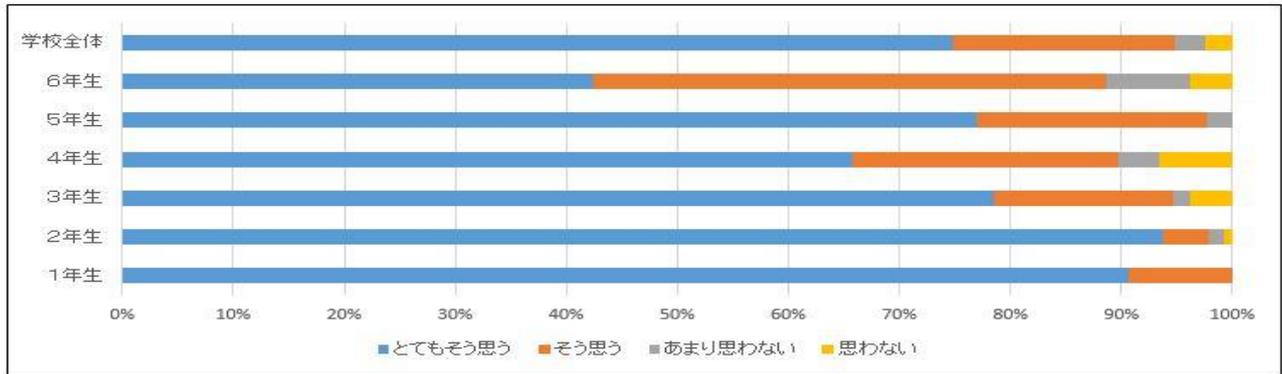
ペアトークやグループトーク、全体での発表など、それぞれの場面でクリアボイスを意識して授業に参加していることが窺える。

### 3. 外国語の授業で、相手の目を見ながら話すことを、心がけていますか。（アイコンタクト）



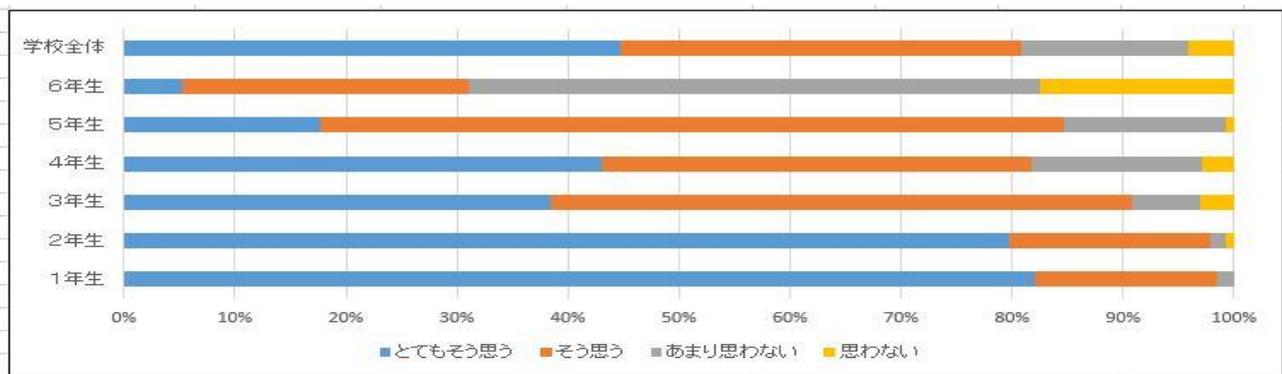
学校全体の8割を超える児童が、アイコンタクトを心がけている（いつも、だいたい）と答えている。授業中の会話を要する学習活動において、しっかりと相手意識を持っていることが窺える。「いつも心がけているか」については、学年が上がるにつれて割合が低くなる傾向にある。

#### 4. 英語を、もっと話せるようになりたいですか。



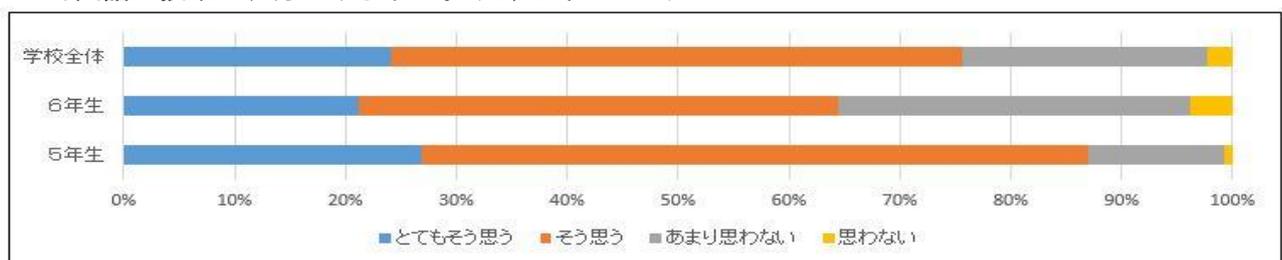
学校全体の9割を超える児童が、もっと話せるようになりたい（とてもそう思う、そう思う）と答えている。苦手意識を持っている児童も、「話すのは嫌いだけど、話せるようにはなりたい」と答えており、学校全体として、英語を話せるようになりたいという思いが窺える。

#### 5. 外国語の授業は、好きですか。



学校全体の約8割の児童が、外国語の授業が好き（とてもそう思う、そう思う）と答えている。低学年においては、とても好きの割合が約8割であり、好意的に捉えていることが窺えるが、学年が上がるにつれて、その割合が低下する傾向にあり、明確な苦手意識が感じられる学年もある。

#### 6. 外国語の授業は、分かりますか。（5, 6年生のみ）



外国語の授業が分かる（とてもそう思う、そう思う）と答えている児童の割合は、調査対象学年の7割を超えている。視点を変えれば、約3割の児童が分からないという実態があり、授業の工夫と改善を図る必要性が感じられる。

#### 【学校関係者・保護者から】

- 各質問とも、学年が上がるにつれてプラス評価の割合が低くなる傾向が窺えるので、学習活動や教材等の工夫をしていきたい。
- 専科教員や英語指導補助教員の専門性が、深い学びにつながっている。
- 学校で学んだことを、家庭の中でも楽しむ様子が見られた。